

10月の活動内容報告



ビーバー(BVS)隊

10/11 「ハロウィン・パーティー」パーティー参加の準備として黒いビニール袋に思い思いにデコレーションをしてマントを作りました。みんな



が魔法使いに変身したら、ハロウィンパーティースタート！

パーティーで行われたのは・・・おばけのピンを倒すボーリング、破られた絵画のパズル、洋館のタワー作りなどのゲームと・・・もちろんお菓子ももらいました！最後にカブ隊のところにお邪魔して、「トリック・オア・トリート！」



10/25 「秋の味覚狩り」ビーバー隊・カブ隊合同ハイキングとして行いました。東小金井駅に集まり、グループにわかれて追跡記号と指令書にそって、野川を散策し、小金井市内にあるサツマイモ畑まで歩きました。各所に設

けられたチェックポイントで出された難しそうな課題もクイズ好きのスカウトの手にかかればオテノモノ！みんな協力して解読していました。一生懸命歩いて到着した畑では、お兄さんたち、リーダーたちの作った暖かい豚汁が待っていました。お弁当のおにぎりと一緒においしくいただきました。



午後はいよいよさつまいも掘り。準備万端で、芋を掘っていきました。なかなか抜けないツルの先には、たくさんのお芋が連なっていました。どうやって持って帰ろうか、おうちの人も必死になってカバンに詰め込むほどのサツマイモ



が今回のお土産となりました。お芋の種類はシルクスイート。掘りたてよりも1週間ほど待ったほうがお芋は熟して、おいしくなるよ、と農園の方がお話ししてくれました。11月の集会で甘くておいしかったと話をしていました。



カブ(CS)隊

10/11 組集会 10月のテーマは「実りの秋をつきとめろ！」次回のハイキングに向けて“秋を探す”と“追跡”についての予習集会です。

またこの日から3ヶ月限定のデンコーチがカブ隊のお世話として参加を始めました。

まずは紅葉山公園で、五感の匂いと追記記号を頼りに探しものをするゲーム。前週先週まで香っていた金木犀(キンモクセイ)が残念ながら失ってしまったので、香りの強い草木、ローリエ、杉、ミカンなどを匂いを頼りに探しました。追跡記号は中間の印。例えばナイフで小枝を斜めに切るなど、自然物に加工した印を意識的に付けて方向を示します。後半は部屋に入って、刃物の使い方を練習しました。削るのは鉛筆。まずはプラナイフで練習してその後ナイフや小刀、カッターナイフなどを使って



削りました。誰もけが人が出ず鉛筆を削れたので「良く削れた選手権」で2人のスカウトが選ばれました。途中で、ハロウィンの活動をしているビーバースカウトが「トリック・オア・トリート！」と乱入してくる場面もありました！



10/25 秋の味覚狩りハイキング 収穫の秋に因んでのテーマの隊集会として味覚を追った追跡ハイキング。中央線・東小金井駅から栗山公園まで移動しハイキング開始です。まずは指令書1を受け取って暗号文を解読し、公園を出て追跡記号を追って次のチェックポイント(CP)武蔵野公園入口へ。次の暗号文を解読して野川に沿って、野川中洲北遺跡を通してCP2の小

金井神社へ。課題をこなしてCP3 金蔵院に。その後ゴールの大久保園まで、チェックポイント4つ、暗号文4つ、たくさんの追跡記号を追い、無事に到着出来ました。お昼は持参のオニギリと、他隊のリーダーが作ってくれたトン汁を美味しくいっばいおかわりしました。後半戦はいよいよ“味覚狩り”。畑



を探してツルを引っ張ったら大きなサツマイモがゴロゴロ出てきました。あまりのヘビーな芋ほりで予定していたお芋選手権やたき火による焼き芋が出来なかったけれど、いっばいの実りの秋をリュックサックに詰め込んで、満足して帰路につきました。みんな大地の恵みと育ててくれた農園の方に感謝の心感じてくれたかな？



ボーイ(BS)隊

10/4 事前に班ごとに立てた計画に従って、御岳山で班ハイクを行いました。指示された踏破距離は10km。自然を楽しもうと山頂を重点的に歩くためにケーブルカーの麓まではバスで移動したフェニックス班と少しでも楽しようと平地部分が多いコース設定をしてJRの御嶽駅から歩いたトラ班。考え方はそれぞれですが、班で決めたこと。隊長としては、どちらも上手くいくことを願いました。結果は、山頂周辺のアップダウンに苦戦して目標距離に少し到達しなかったフェニックス班に対して、トラ班は計画通り完歩。でも、フェニックス班のほうが自然は楽しめたかな？

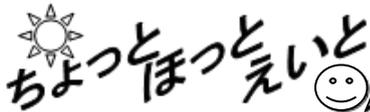
10/18 前半は班ハイクの報告書作成をしました。“歩いて終わり”はカブスカウトまで。計画、実施、評価・反省まで行うことがボーイスカウト年代では重要です。後半は、次回のキャンプの確認。今度こそ宿泊です。

10/31-11/1 八王子のひよどり山キャンプ場でキャンプを行いました。秋晴れの中、設営開始。With コロナの中、今までとは違い、一人1張りのソロテントでの実施でした。スカウト参加者3名と少々寂しいキャンプでしたが、キャンプファイヤーも行いました。



ベンチャー(VS)隊

森林愛護章講習会への参加を予定していましたが、夏に引き続き悪天候で中止。この他にはベンチャー独自の活動は行わず、ボーイ隊以下の隊の活動支援を行いました。



活動で見つけたほのぼの話

11月16日に打ち上げられた民間宇宙船「クルードラゴン」のクルーとして3度目の宇宙に飛び立った野口聡一宇宙飛行士。子どもの頃からボーイスカウトの活動を続けていて、今は日本連盟のボーイスカウト・アンバサダーに就任しています。後輩たちのスカウトとしての活動を応援すると同時に、自ら挑戦し続ける姿を私たちに見せてくれています。

先輩に負けるな！みなさんは何に挑戦しますか？

<https://www.scout.or.jp/member/scout-noguchi2020-2021/>



- * 活動の写真はホームページにアップされています。
- * 個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上アクセスして下さい。(なかなか更新できなくてすみません)

<http://bsn8.world.coocan.jp/>

リーダーの活動

10/1	地区円卓会議	
10/4	地区BS講習会奉仕	
10/4	あすなる地区ボーイスカウト講習会	
10/11	団会議	
10/18	WB研修所課程別BS課程奉仕	
10/18	大都心地区ボーイスカウト講習会	
10/19	地区ミツヨナ会議	
10/20	東連指導者養成委員会	
10/22	地区委員会	
10/28	地区各種委員会	

スカウト豆知識

「スカウト活動のシンボル：ネッカチーフ」

制服、正帽とともにスカウトの服装の象徴でもあるのがネッカチーフです。

チーフは二等辺三角形の布で出来ていて、応急処置用の三角巾や埃よけのマスク、風呂敷など多目的に使用することができるようになっています。チーフの色や模様はさまざまで、所属する団によって異なり、同じ団でも隊によって異なる場合もあります。また、ジャンボリーなどの特別なイベント時のみに着用するチーフや、海外派遣時に着用するチーフ、各連盟事務局のチーフなどもあり、それらはすべて視覚的にスカウトの所属を表しています。

日本のスカウトはこれを三角形の長辺から反対側の頂点方向に巻き、両端がとがった棒状にして用います。海外のスカウトでは太くざっくりと巻くスタイルのものもありますが、日本では細く巻くスタイルが好まれていますので、あまりざっくりと巻いていると、だらしく見えてしまうこともあります。しっかり巻いたチーフを制服の襟の上から首にかけ、両端をチーフリングに通します。チーフリングを胸の前(鎖骨の合わせ目辺り)まで引き上げ、チーフを留めます。ビーバースカウトは、小さいネッカチーフを用い、チーフを胸の前でクロスさせたところをチーフリングで留めます。

チーフリングは一応正式なものが定められていますが、装飾や記念品としての価値もあり、ジャンボリーやさまざまな行事に合わせて、多様なデザインのもので作られています。また、個人の趣味として自作されることもあり、ジャンボリーなどで他のスカウトと交換されることもあります。

ボーイスカウトの制服は、厳密に言えばワッペン の貼り付け方一つにいたるまで公式の規定が存在します。そんな厳密な規定のある制服の中で、唯一自分の好きに着用できるのがチーフリングであり、ある意味でスカウト達の「自己主張の場」となっています。